

思春期の子どもと向き合う

思春期の子どもをもつ保護者の皆さんの中には、「何かうちの子が変わった」「子どものことがよく分からない」などと、悩んでいる方がいらっしゃるようです。皆さんもここで立ち止まって、日頃の子育てをふりかえってみませんか。

Q

中学校1年生の娘をもつ保護者です。

最近、ニュース番組で、いじめに関することが多く取り上げられています。自分の娘が4月に中学校に入学して楽しそうにしていますが、今後のことで、「いじめられはしないだろうか」、もしかしたら「誰かをいじめてはいないだろうか」と心配しています。

A

「心のSOSのサイン」に気づき、大人としてきちんと関わることが重要です。

関わり方のポイントとして、次のことに気をつけてみてはいかがでしょうか。

家族が「あなたは大切な家族であり、大切な人である」ことを伝え、気づかせるようにしましょう。大切にされた経験が他人を大切にすることにつながります。

普段の生活において「ありがとう」の言葉がけを多用すると、子どもの自己肯定感を育むだけでなく、やる気も引き出します。

普段からなんでも話ができる雰囲気をつくっておくようにしましょう。無理に「話を聞き出す」のではなく、自分から話題を出し話すことで、子どもとの会話も増えてきます。

企業内研修として「親学出前講座」を開催しませんか？

日頃、仕事が忙しく講座などに参加できない方に好評です。

企業の福利厚生事業や社員研修の一つのメニューとして、ぜひ、ご活用ください。



平成26年11月
カルビー工場での親学出前講座の様子

宇都宮市 親学

検索